

「歯学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版」の対応表（小項目・学修事項順）

学修事項		対応する節
D-2	基本的診察, 診断	
D-2-5	画像検査を用いた診断	
D-2-5-1	放射線の種類, 性質, 測定法と単位を理解している。	1章-1 放射線の物理的性質 1章-2 放射線と物質の相互作用 3章-1 放射線防護の体系と基準 3章-2 測定値の意味するところ
D-2-5-2	放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を理解している。	1章-3 放射線の生物影響（実験科学） 1章-4 放射線の人体影響（疫学）
D-2-5-3	放射線防護の基準と方法を理解している（医療放射線安全管理責任者の内容を含む）。	2章-1 放射線診断 2章-2 放射線治療 2章-3 医療における被ばく 3章-1 放射線防護の体系と基準 3章-2 測定値の意味するところ
D-2-5-4	エックス線画像の形成原理（画像不良の原因を含む）を理解している。	2章-1 放射線診断 2章-3 医療における被ばく
D-2-5-7	口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像における正常像を理解している。	2章-1 放射線診断
D-2-5-9	造影検査法, 超音波検査法, コンピューター断層撮影法（CT）, 歯科用コーンビームCT（CBCT）, 磁気共鳴撮像法（MRI）及び核医学検査法の原理と基本的特徴を理解している。	2章-1 放射線診断
E-1	診療の基本	
E-1-1	患者安全対策, 感染予防策	
E-1-1-1	患者安全対策（標準予防策（SP）, 感染予防, 医療機器の操作, 放射線の誤曝等を含む）を実施できる。（Ia）	2章-3 医療における被ばく
E-2	基本的診察・診断技能	
E-2-5	画像検査を用いた診断	
E-2-5-1	診断並びに治療に必要な画像検査及び臨床検査を選択し, 実施できる。	2章-1 放射線診断
E-2-5-2	口内法エックス線検査, パノラマエックス線検査の必要性を患者に説明し, その撮影ができる。（Ia）	2章-1 放射線診断
E-2-5-3	CT及びMRIの必要性を患者に説明し, 撮影の指示ができる。	2章-1 放射線診断
E-2-5-4	口内法エックス線検査又はパノラマエックス線検査で得た画像を読影できる。（Ia）	2章-1 放射線診断